

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 言語聴覚士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|----------|-----------------|--------------------------------|----------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 形成外科学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 一年次 | | 学期及び曜時限 | 後期 水曜1限 | 教室名 | 406教室 |
| 担 当 教 員 | 林田健志、山川翔 | 実務経験と その関連資格 | 島根大学医学部附属病院 皮膚科にて医師として勤務。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 既習の形態機能学と連動させ、外部・内部環境からの防御機能や免疫機能障害と生体発生と老化について皮膚疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。口唇、口蓋裂などの先天的奇形やその他の奇形、変性を伴う身体疾患について学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 筆記試験(100点)で評価する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 適宜、資料を配付する。 【教科書】「系統看護学講座 専門分野12 皮膚」医学書院 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 教科書を事前に読んでおく。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 積極的な取り組みを望む。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 基礎的知識・症状とその病態生理について理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 基礎的知識・症状とその病態生理 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査と治療・処置について理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 検査と治療・処置 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 疾患の離解について理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 疾患の離解 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 形成外科総論について理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 形成外科総論 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 組織移植・外傷、熱傷、潰瘍について理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 組織移植・外傷、熱傷、潰瘍 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|----------|--------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 唇裂・口蓋裂・頭蓋、顔面の異常について理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 唇裂・口蓋裂、頭蓋・顔面の異常 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭頸部外科手術に伴う変形、機能障害・瘢痕とケロイドについて理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭頸部外科手術に伴う変形、機能障害・瘢痕とケロイド | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめについて理解でき、説明できる。 | 教科書、配付資料 | 指定した教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |